

「りそな銀行」大阪大学 金融・保険研究センター ミニ・レクチャーシリーズ講義内容

日時・時限		テーマ	講師	概要
11/29	4	銀行 A L M (Asset Liability Management)	荒川	銀行は預金及び貸出による利息収支が収益の大半をしめるが、これは金利変動により影響を受ける。実務における金利変動リスクの管理方法を紹介するとともに、最近の先進的な取り組みについて解説する。
	5	流動性預金モデルの現状と今後の展望	上武	銀行 ALM において、資産の管理手法については従来から研究がなされているが、負債の管理手法については重要性が高いにもかかわらず発展途上である。特に預金の約半分を占める流動性預金をどのようにモデル化するかが課題となっている。講義では、現在一般的に用いられているモデルや開発途上のモデルを紹介する。
12/6	4	デリバティブ金融商品	荒川	実務におけるデリバティブの活用方法を概説する。デリバティブは単体でも取引されるが、仕組債等デリバティブ内包商品も多い。実務の目線から商品化のポイントやその評価方法を解説する。
	5	株式ポートフォリオの理論・実務 (年金資産運用)	南	年金資産運用における株式運用を概観する。株式バリュエーションの基礎やファクター分析に加え、ファクターテイルポートフォリオのポートフォリオ構築手法や各種トピックス（アクティブ運用の基本法則・分離定理）を説明する。
12/13	4	統合リスク管理	松井	銀行経営の健全性、限られた経営資源の中で収益の極大化を目的に「統合リスク管理」と呼ばれるリスク管理手法を導入している。統合リスク管理の枠組みとその実務を解説する。
	5	市場リスク管理	荒川	金利・為替等マーケットの変動によるリスクを Value at Risk(VaR)により計測している。実務での計測方法やファットテイル等の問題点、今般の金融危機を踏まえた高度化への取り組みを紹介する。
12/20	4	信用リスク管理	阿部	与信先の信用状態の変化に伴い損失を被るリスクが信用リスクであり、一般的に信用 VaR により定量化される。前提となる計測モデル、パラメータの考え方や推定方法は様々であるが、実務での事例を紹介するとともに、高度化への取り組みを紹介する。
	5	オペレーショナルリスク管理	荒川	信用・市場リスク以外にも、事務リスクやシステムリスク、法務リスクなどをオペレーショナルリスクとしてリスク計測の対象としている。オペレーショナルリスクの特徴を踏まえたリスク計測手法について解説する。

<講師>

執行役員

松井 浩一

リスク統括部 金融テクノロジーグループ グループリーダー

荒川 研一

リスク統括部 リスク統括グループ クオンツアナリスト

阿部 達生

リスク統括部 金融テクノロジーグループ

上武 治紀

アセットマネジメント部 投資技術開発グループ チーフクオンツアナリスト

南 聖治